

令和5年度大分市議会議員OB会定期総会

日時：令和5年7月21日（金）16:00～16:40

場所：トキハ会館5階 カトレアの間



世代も性別も職種もこえて
みんなのチカラをひとつに。
理想のまちがこれからはじまる。

大分市長 足立 信也

大分市長プロフィール



足立信也（あだち しんや）

生年月日 1957年（昭和32年）年6月5日

出身地 大分市上戸次

趣味 スポーツ観戦

座右の銘 紅蓮（Warm Heart Cool Head）

学歴

- 1976年（昭和51年） 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業
- 1982年（昭和57年） 筑波大学医学専門学群 卒業
- 1990年（平成 2年） 医学博士（筑波大学）

職歴

- 1982年（昭和57年） 筑波大学附属病院医員（研修医）
- 1984年（昭和59年） 筑波大学附属病院医員
- 1988年（昭和63年） きぬ医師会病院外科診療科長
- 1994年（平成 6年） 筑波大学臨床医学系外科講師
- 2003年（平成15年） 筑波大学臨床医学系外科助教授
- 2003年（平成15年） 国立霞ヶ浦病院消化器科医長
- 2004年（平成16年） 筑波メディカルセンター病院診療部長
- 2004年（平成16年） 第20回参議院議員選挙（大分県選挙区）で初当選
- 2010年（平成22年） 第22回参議院議員選挙（大分県選挙区）で2期目当選
- 2011年（平成23年） 筑波大学客員教授
- 2016年（平成28年） 第24回参議院議員選挙（大分県選挙区）で3期目当選
- 2022年（令和 4年） 一般社団法人 新時代戦略研究所 研究顧問
- 2023年（令和 5年） 大分大学客員教授
- 2023年（令和 5年） 大分市長就任

大分市の人口の状況

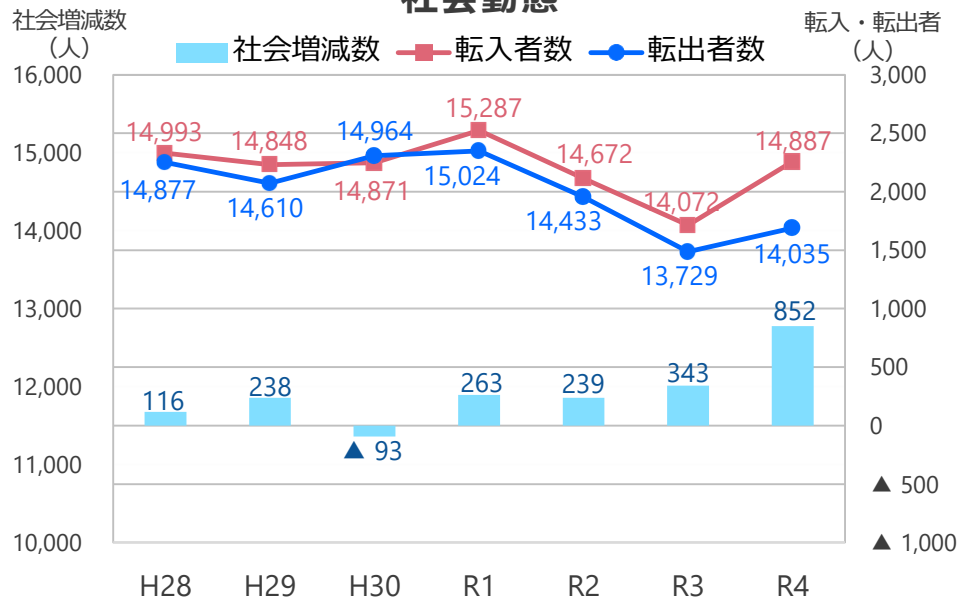
資料：大分県「大分県の人口推計報告 令和4年版」

大分市の人口 **474,323人** (令和4年10月1日現在)

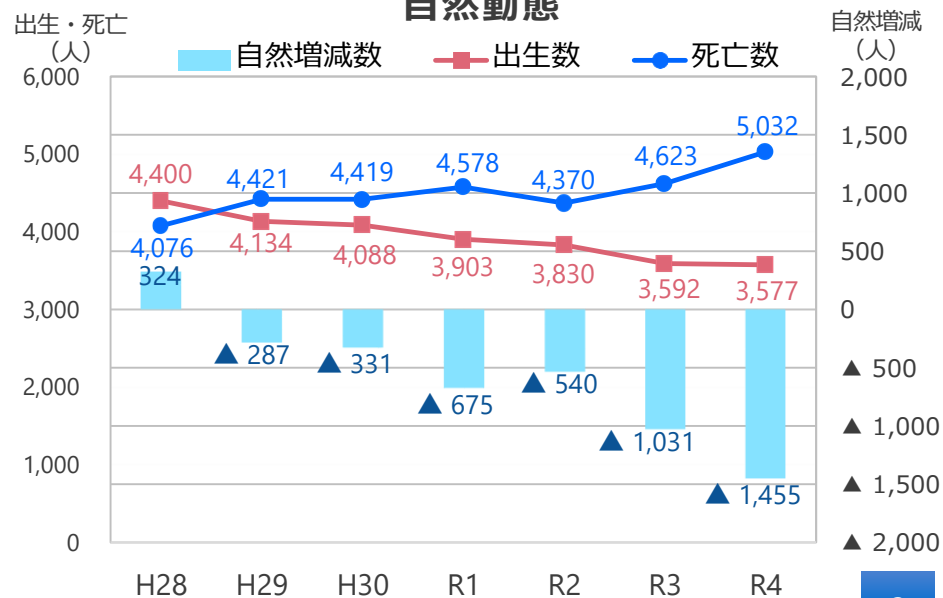
前年同月比 **-603人** (社会動態 +852人、自然動態 -1,455人)

※ 社会動態の人数は、前住地または転出先が不明の者 (+13人) を含む

社会動態



自然動態



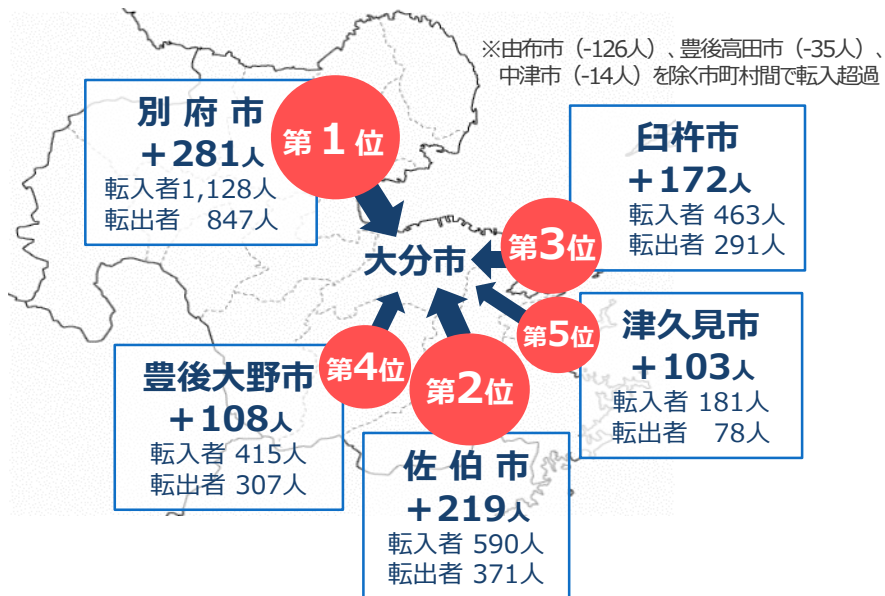
大分市の人口の状況

資料：大分県「大分県の人口推計報告 令和4年版」

県内他市町村との人口移動

1,100人の転入超過

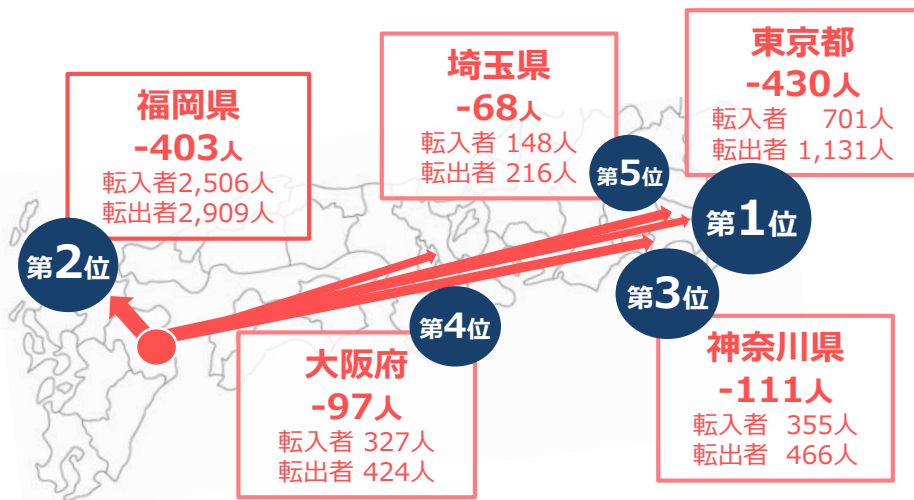
(男性：+ 529人、女性：+ 571人)



大分県外との人口移動

261人の転出超過

(男性：-108人、女性：-153人)



※転出超過人数の年齢区分で最も多いのは「20～24歳」

※ 前住地または転出先が不明の者 13人 (転入者:38人、転出者:25人) を含まない。

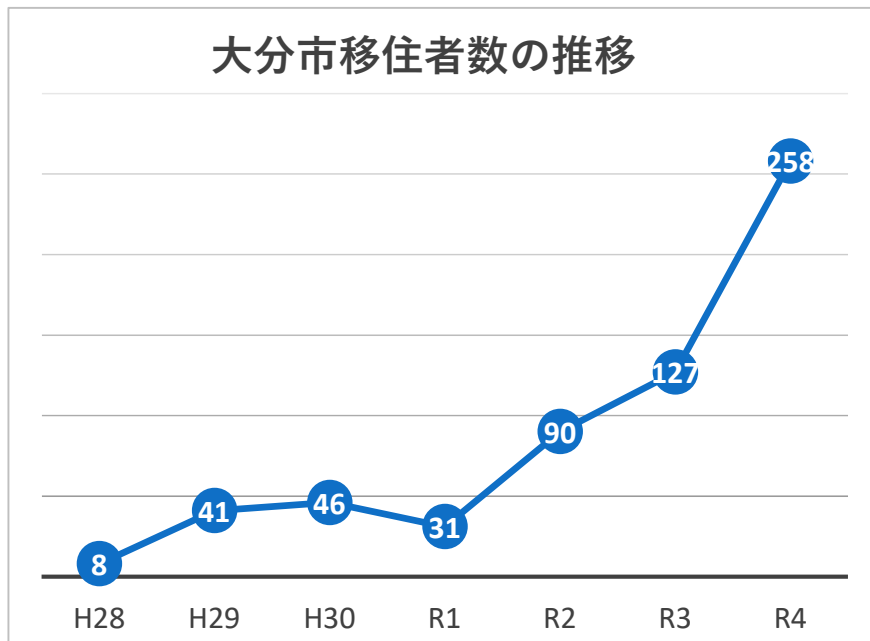
大分市への移住者の状況

資料：大分市おおいた魅力発信局調べ

大分市への移住者数

県内市町村**1位** 過去最高の**258人**
(男性：127人、女性：128人、不明：3人)

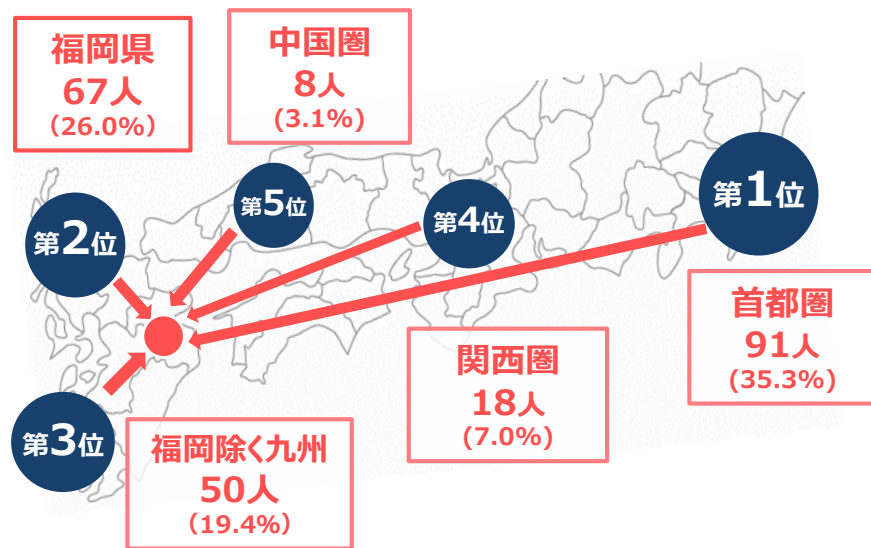
大分市移住者数の推移



※移住者の年齢区分で最も多いのは「**30歳代** 及び **10歳未満**」で、合計は過半数（**51.5%**）を超える。

移住前の住所内訳

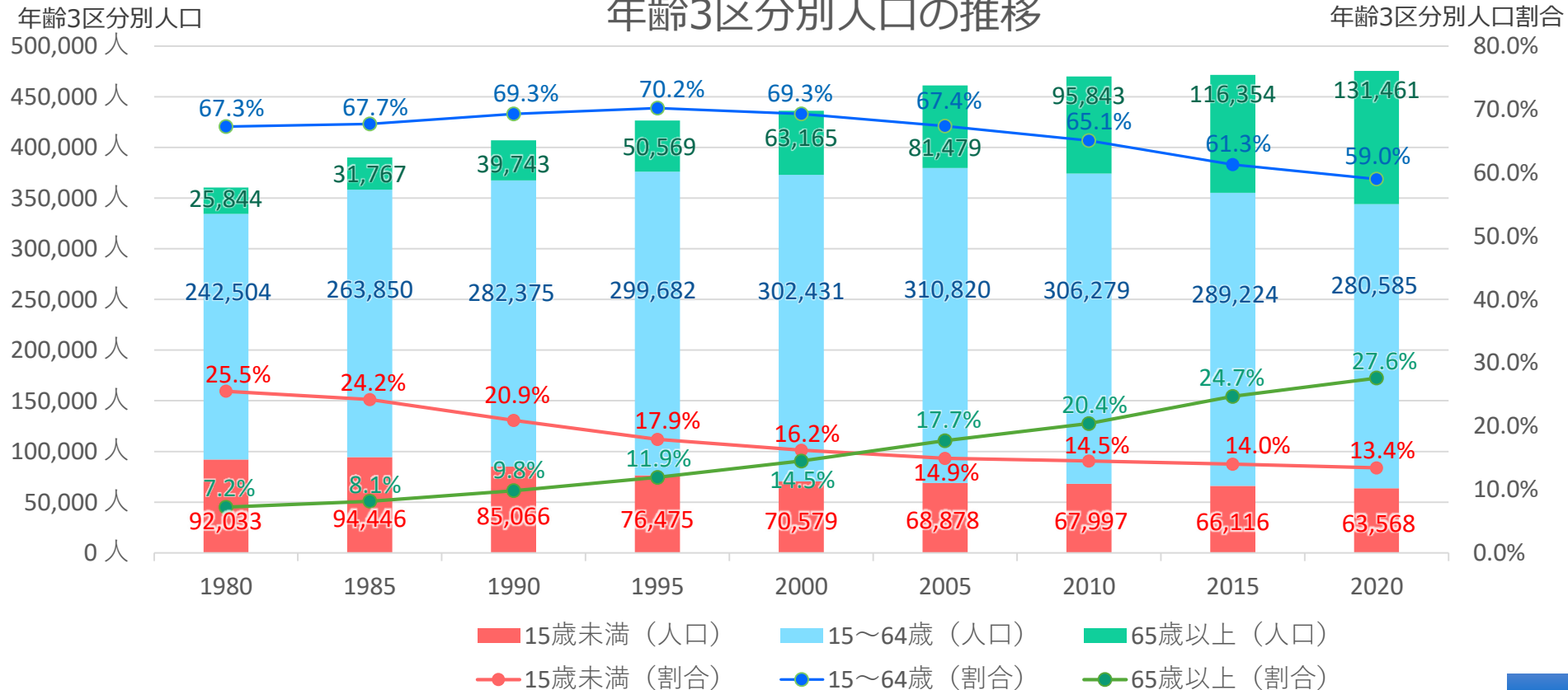
首都圏からの移住者が**35%超**



大分市の人口の状況

資料：総務省統計局「国勢調査」

年齢3区分別人口の推移



「ひとが真ん中。」

ひとを守る

自然災害や感染症などのリスクをあらゆる角度から想定し、被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ります。

ひとを育む

妊娠・出産・子育てから大学などの高等教育まで切れ目のない支援で、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります。

ひとを支える

少子高齢化による地域コミュニティの衰退などに備え、誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会の実現をめざします。

ひとを豊かに

市民生活の向上と心豊かな暮らしを実現します。また、このまちを次世代へ引き継ぐため、持続可能なまちづくりを進めます。

ひとを元気に

人とまちが元気に輝き続けられるよう、新たな魅力が生まれるまちづくりを進めます。

少子化対策を最優先

少子化が進行すると・・・

- ・ 地域コミュニティの弱体化
- ・ 社会保障制度の疲弊
- ・ 地域経済の縮小
- ・ 労働力の不足
- ・ 市の財政の硬直化

・・・など社会や経済に多大な影響

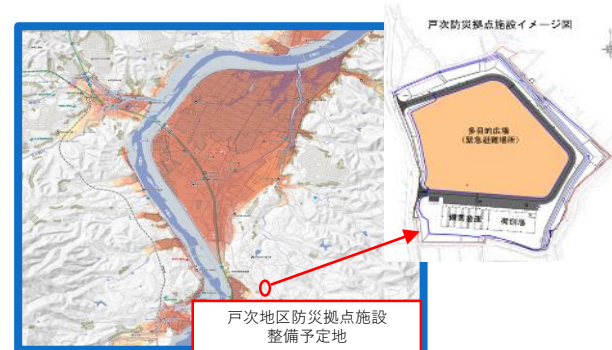
ひとを守る

市民の生命と財産を守る

安全・安心な医療・防災体制

◆戸次地区防災拠点

戸次地区において、災害救援物資の輸送拠点と、風水害時における地域住民等の緊急避難場所としての機能を併せ持った防災拠点施設をR6年度供用開始（R4:造成工事開始、R5:防災備蓄倉庫等整備開始）に向けて整備する。



◆災害予防対策として樹木を事前伐採

台風などの自然災害に備え、倒木による道路通行の支障や長期間の停電を未然に防止するため、民間と協働して樹木を伐採する。



◆新型コロナワクチンの接種

ワクチンの特例臨時接種の実施期間延長（R6.3.31まで）を受け、高齢者などの重症化リスクが高い方のほか、接種可能な市民への接種（全額公費）を実施する。

※令和5年春開始接種(実施期間：5月8日～8月31日、対象者：65歳以上の方など)

令和5年秋開始接種(実施期間：9月以降開始（予定）、対象者：5歳以上の接種可能な方（予定）)



ひとを育む

誰もが安心して子どもを産み育てられる環境

高等教育まで切れ目のない支援

◆大分市にこここ保育支援事業の実施

保護者の経済的負担の軽減と子育ての環境整備のため、R6年度から認可外保育施設を利用する保育の必要性がある第2子以降の3歳未満児の保育料を無償化（上限3万5千円）する予定（令和5年度：施設向け説明会等開始）。 ※認可保育施設における第2子以降の3歳未満児の保育料は令和元年10月から無償化

◆子ども医療費助成の拡充

R6年度から助成の対象を公的支援が少ない高校生まで拡充する予定（令和5年度：システム改修等開始）。

※拡充後のイメージ

対象者	R6年3月診療分まで	
	対象医療費	自己負担
未就学児	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生 (市町村民税 非課税世帯)	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生 (市町村民税 課税世帯)	入院・調剤	なし
	通院・歯科	医療機関ごと1日500円 (月上限4回まで)
高校生等	助成なし	

拡充

対象者	R6年4月診療分から	
	対象医療費	自己負担
未就学児	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生 (市町村民税 非課税世帯)	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生 (市町村民税 課税世帯)	入院・調剤	なし
	通院・歯科	医療機関ごと1日500円 (月上限4回まで)
高校生等	入院・調剤	なし
	通院・歯科	医療機関ごと1日500円 (月上限4回まで)

高等教育まで切れ目のない支援

◆中学生の学校給食費の無償化

食費や教育費がかさむ子育て世帯の支援のため、**市立中学校及び義務教育学校後期課程**（市立碩田学園の7年生～9年生）に在籍する生徒の**学校給食費**を**令和5年度3学期**の給食提供分から**無償化**する。 ※R5における保護者等の負担軽減額：約1億6,400万円（減収となる学校給食費分）



◆大分市奨学資金の拡充を検討

修学困難な学生の負担軽減と修学後に大分で活躍する人材の育成・確保を目的に、**新たな奨学資金制度**の導入に向けた**調査・検討**を行う。



◆市立保育所等のおむつ処分

保護者や保育士の**負担軽減**を図るため、**令和5年10月**から使用済みのおむつを**市立保育所等**で**処分**できるように、必要な設備の購入や収集業務の体制を整備する。



ひとを支える

自分らしく輝ける社会の実現に向けた取組

あらゆる人が活躍できる社会と支える体制づくり

◆パートナーシップ宣誓制度の導入

令和5年9月からの導入（予定）により、性的マイノリティの方々への理解を深め、市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現をめざす。



大分市パートナーシップ宣誓制度マーク
(イメージ)

◆行政評価制度の再構築

行政の限られた人的・財政的な資源の中で、より効果的な外部評価の仕組みを導入するなど、現在の行政評価の手法を見直すことで、持続可能な行財政基盤の確立をめざす。

※R5.6月に庁内横断的なプロジェクトチームを新たに設置



◆介護認定調査システムの導入

介護認定の調査や審査会において、タブレット端末及び専用ソフトの導入のほか、ペーパーレス会議等を令和5年度から進めることで業務の効率化を図る。



介護認定調査システム導入 (イメージ)

ひとを豊かに

市民生活の向上と心豊かな暮らしへの取組

地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆若手起業家の育成

若者が気軽に立ち寄り、起業に関する知識の**学び**の場や、同じ創業意欲を持つ**若者等が出会う**ことのできる場、思考やアイデアを磨いていくことのできる**交流の場等**を提供する。



学生のための起業セミナー

◆水素エネルギー導入の推進

「大分市水素利活用計画」に基づく取り組みの一環として、**水素を活用**する家庭用**燃料電池**（エネファーム）の**設置**や業務用燃料電池、**燃料電池自動車**の**購入**に対して**助成**する。



大分市水素利活用計画から抜粋

◆省エネ家電の購入促進

温室効果ガス排出削減の取組のひとつとして、市民がエアコンや冷蔵庫を購入する際に、**省エネ性能の高い製品**を選択することを促進するため、**購入費用の一部を補助**する。

※受付は令和5年8月25日（予定）から。ただし、予算額上限に達し次第終了。



ひとを元気に

新たな魅力が生まれるまちづくりへの取組

文化・芸術資源の継承と新たな魅力の創出

◆アーティストバンク推進事業

文化芸術の活動者及び活動可能な場所をデータ化し、マッチングすることで文化・芸術団体や個人のアーティスト等の活動を支援する。



◆アーバンフェスタ開催事業

新たな魅力の創出として、若者を惹きつけるスケートボードやBMX、ダンスなどのアーバンスポーツが体験できるイベントを令和5年10月に開催（予定）する。



◆おいしい物産・食・観光魅力発信事業

大都市圏での観光物産展の開催やイベント等へ出展するとともに、観光大使の活用やMICEの誘致のほか、「たのうらら」と2つの道の駅（さかのせき、のつはる）に係る連携イベント等を実施する。



物価高騰対策

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を緩和

物価高騰対策関連

◆プレミアム付商品券の発行

物価高騰の影響を受けている**地域経済の回復**を図るため、商品券（**プレミアム率30%**）を発行することで、**個人消費の下支え**と市内の事業者が**価格転嫁しやすい環境**を整える。

※商品券使用期間（予定）：令和5年10月～12月

◆交通事業者の事業継続への支援

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けている**交通事業者**に対して、**事業の業務効率化**や**省エネルギー化**、**人材確保等**の取組を支援し、**公共交通を維持**するとともにアフターコロナに向けた**観光振興**を図る。

◆漁業者の活動改善等への支援

出漁経費の一部である**燃油の購入費**や低燃費走行につながる船底掃除等に係るメンテナンス時に使用する**施設の使用料**に対する**支援**を行う。



オール市民でまちを創る
one team



ITA

ご清聴ありがとうございました

